

平成28年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	人と文化を育むまちの形成
基本方針	生涯を通じて学びあうまち
基本施策名	スポーツ活動の推進

	所属	職名	氏名
作成者	都市計画課	課長	久保田 薫
評価者	都市建設部	部長	横山 正

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	
基本方針 (目指すべき方向性)	スポーツ施設の充実と適切な管理を行い、誰もがスポーツを楽しめる環境を整備し、スポーツを通じたコミュニティづくりと心身の健康増進及び競技力の向上を目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H26	H27	H28	達成率	進捗状況	所管課
スポーツイベント参加者数（人/年）	人	22,259	30,700		26,678	35,418	115.4	順調	生涯学習課
スポーツ・レクリエーション施設利用者数（人/年）	人	641,940	700,000		531,641	640,277	91.5	順調	生涯学習課
総合型スポーツクラブ参加者数（人/年）	人	248	980		467	480	49	停滞	生涯学習課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況				重点化	
				H26	H27	H28	H29	H30	合計	事業区分	新/継	終期		方向性
合計														

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	
重点化事務事業の考え方	
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	

平成28年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	安全・安心・快適なまちの形成
基本方針	風土に根ざした魅力あるまち
基本施策名	秩序あるまちづくりの推進

	所属	職名	氏名
作成者	都市計画課	課長	久保田 薫
評価者	都市建設部	部長	横山 正

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成23年4月から運用されている、条例に基づく土地利用制度は平成28年度末で5年を経た。この間、条例がめざす拠点市街区域、準拠点市街区域、田園居住区域への誘導が図られ、成果を上げている。 ○ 都市計画道路の整備については、平成27年4月に策定した道路整備推進計画に基づき、豊科地域の吉野線の整備に着手し、用地等の補償契約を進めている。 ○ 明科地域の国道19号歩道整備事業と並行して、まちづくり懇談会が開催され、5回の話し合いを重ね、平成29年2月には「明科駅周辺まちづくり計画」がまとまった。今後、都市再生整備計画を策定し、周辺整備を進める予定である。 ○ 「安曇野水辺の里地区都市再生整備計画」に基づく穂高駅前広場整備については、平成29年7月の供用開始をめざし、整備が進められている。 ○ 改正都市再生特別措置法に基づく、「立地適正化計画」の策定は、平成28年度に着手し、平成29年度末の策定をめざし、居住誘導区域、都市機能誘導区域について検討した。
基本方針 (目指すべき方向性)	自然と調和の取れた田園産業都市の形成を目指します。 また、都市計画基礎調査などの動向にも注視し、土地利用に関する現状、推移を勘案して必要に応じて土地利用基本計画の見直しを行います。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H26	H27	H28	達成率	進捗状況	所管課
都市計画道路整備率	%	32.75	42.96		33.1	33.4	77.7	順調	都市計画課

施策指標の進捗状況と分析	都市計画道路の整備率は、平成28年度末に33.4%となっているが、吉野線については現在用地買収を進めており、整備は継続している状況である。 限られた財源のなかで、国の社会資本整備総合交付金を活用しながら進めており、この配分結果に影響されることは否めない状況である。
--------------	---

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況				重点化	
				H26	H27	H28	H29	H30	合計	事業区分	新/継	終期		方向性
1	0108370	立地適正化計画策定業務	計画係			7,689,600	5,508,000	52,000	13,249,600	政策的業務	新規	H30	現状維持	○
2	0108380	都市計画総務費	計画係			332,620	206,073,000		206,405,620	義務業務	継続	期限なし	現状維持	
3	0108390	土地利用制度	計画係			310,938	388,000	388,000	1,086,938	政策的業務	継続	期限なし	現状維持	
4	0108460	街路整備事業(交付金)	都市整備係			71,490,436	403,520,000	35,000,000	510,010,436	ハード(継続)	継続	H33	現状維持	○
5	0108470	都市再生整備計画事業(交付金)	都市整備係			195,844,200	44,200,000	211,316,000	451,360,200	ハード(継続)	継続	H30	現状維持	○
6	0108530	都市下水道維持管理費(市単独)	都市整備係			2,219,456	7,904,000	2,338,000	12,461,456	ハード(継続)	継続	期限なし	現状維持	
7	0108540	市街地排水路改修事業(市単独)	都市整備係			9,345,767	7,020,000	9,677,000	26,042,767	ハード(継続)	継続	期限なし	現状維持	
合計						287,233,017	674,613,000	258,771,000	1,220,617,017					

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土地利用条例については、制度評価にあたって客観的数値を収集・分析する必要があり、毎年継続してデータを収集していく必要がある。 ○ 都市計画道路については、利便性が良く、安全なまちづくりのため継続していく。また、長期未着手路線については、路線の廃止を含め、見直しする。
重点化事務事業の考え方	「山岳と田園が育むよさを大切にし、暮らしやすさをみんなで共有できるまち」を目指し、土地利用制度の運用と、市街地の整備は重要である。
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価(次年度へ向けた課題の抽出)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土地利用制度は、5年ごとに制度の評価・見直しをしながら、制度の適正な運用を図っていく。 ○ 市街地の整備等については、引き続き交付金制度を活用して計画的に整備を図る。なお、国の交付金の内示率が低く、進捗に支障を来している。 ○ 立地適正化制度については、H29年度には市民・議会などへの説明をしながら、年度末の策定に向け合意形成を図る。

平成28年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	安全・安心・快適なまちの形成
基本方針	風土に根ざした魅力あるまち
基本施策名	住環境の整備

	所属	職名	氏名
作成者	都市計画課	課長	久保田 薫
評価者	都市建設部	部長	横山 正

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	○ 平成25年度に策定した安曇野市公園施設長寿命計画に基づいて、公園施設の修繕、補修工事、更新工事を実施した。遊具の更新では、社会資本整備総合交付金事業により、豊科南部総合公園の複合遊具ほか4公園の遊具を更新した。また、公園施設のバリアフリー化工事においては、あやめ公園のトイレの設計他を実施した。
基本方針 (目指すべき方向性)	公営住宅の整備や適正な開発指導、耐震化の推進などにより、良好な住宅・宅地の供給を図るとともに、公園緑地の整備を進め、健全な居住環境の形成を目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H26	H27	H28	達成率	進捗状況	所管課
公園面積 (㎡/人)	㎡	16.45	23.46		18.21	18.21	78	停滞	都市計画課
簡易耐震診断件数	戸	482	1,000						建築住宅課

施策指標の進捗状況と分析	国の社会資本整備総合交付金事業の要望額50,000千円に対し、40,000千円の内示となり、事業の進捗に影響が出ている。計画した年度に整備が出来ず、年度を繰り延べて整備している状況である。
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費						事務事業の状況				重点化
				H26	H27	H28	H29	H30	合計	事業区分	新/継	終期	方向性	
1	0108480	都市公園管理事業	公園緑地係			57,174,950	90,749,000	52,295,000	200,218,950	施設の管理運営	継続	期限なし	現状維持	
2	0108490	その他公園管理事業	公園緑地係			14,462,618	14,820,000		29,282,618	施設の管理運営	継続	期限なし	現状維持	
3	0108500	公園施設の維持補修・更新・バリアフリー化事業	公園緑地係			77,988,621	97,540,000	87,356,000	262,884,621	ハード(継続)	継続	期限なし	現状維持	○
合計						149,626,189	203,109,000	139,651,000	492,386,189					

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	修繕などにより施設のライフサイクルを延伸しており、資源の有効利用がされている。施設設置者として公園利用者の安全・安心の確保を図る策を施している。
重点化事務事業の考え方	市内公園施設が一斉に老朽化している状況にあつて、更新する事は多額の財政負担となる。したがって、公園施設長寿命化計画によって計画的に修繕する事で、長寿命化を図り、負担の平準化と安全性の確保を図る事は効果が大きい。
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	○ 公園利用者の安全な利用、財源の平準化を図るためには引き続き計画に沿った整備が必要である。 ○ 財源に国の交付金を充てているが、交付率が低い状況にあり、計画通りに進んでいない。